



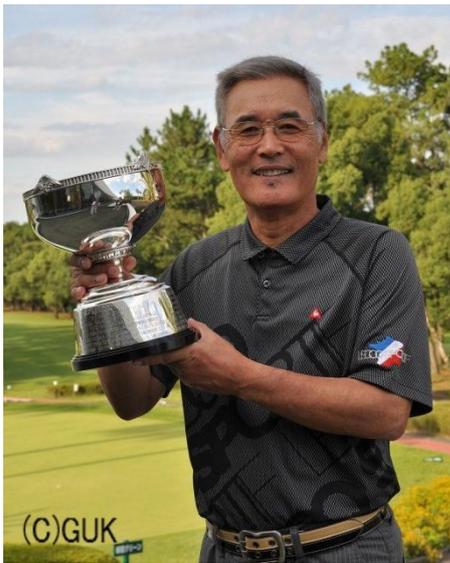
平成 23 年度第 18 回九州ミッドシニア選手権競技
第 33 回九州グランドシニア選手権競技

競技報告・最終R (2011/09/22)

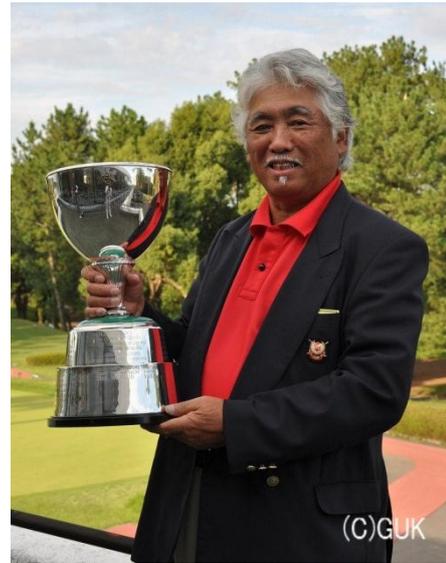
写真と記事：GUK

優勝おめでとう!!

ミッドシニア **中島好巳** (鹿児島シーサイド) が初V
グランドシニア **鍋井健三** (小郡) が史上 2 人目の連覇達成



カップを掲げる
中島好巳(左)と鍋井健三(右)



中島好巳は初出場でのタイトル

台風一過。好天に恵まれた 22 日、最終ラウンドが行われ、ミッドシニアは 65 歳の中島好巳(鹿児島シーサイド)がこの日 75 で回り、通算 6 オーバー、150 で初優勝した。首位に 1 打差の 2 位で最終日を迎えた中島好だったが、その首位の皆吉寿紀(阿蘇東急、71 歳)とのマッチレースを制し、逆転 1 打差をつけての勝利。自身、連盟公式競技での初タイトルだった。

皆吉は通算 7 オーバー、151 で 2 位。さらに 3 打差の通算 154 で中島文章(大分中央、65 歳)が 3 位に入り、前年優勝の大川重信(太宰府、66 歳)はこの日 76 で通算 156 とし、初日の 14 位タイから 4 位に浮上した。

通算 12 オーバーの 161、12 位タイまでの 14 人が 11 月 7～8 日の 2 日間、玉名 CC (熊本) で開かれる第 18 回日本ミッドシニア選手権への出場権を得た。

鍋井は 6 打差をひっくり返しての勝利

70 歳以上(今年 12 月末現在)が出場したグランドシニアも、逆転劇。この日 75 で回った 71 歳の鍋井健三(小郡)が通算 9 オーバー、153 で前年に続く大会 2 連覇を果たした。

鍋井は首位に 6 打差の 6 位タイでの最終日だったが、初日首位の佐藤守男(南九州、71 歳)が 85 をたたくなど、上位陣がスコアを崩す中でベストスコアの 75 で回り、6 打差を逆転しての 2 連勝だった。大会を連勝したのは第 19、20 回大会連勝の久富寿郎(セブンミリオン)以来、2 人目。

2 打差、通算 11 オーバー、155 の 2 位タイに神原武男(周防灘、69 歳)、若松寛英(かごしま空港 36、69 歳)、松下廣海(大隅、69 歳)の 3 人が入った。初日首位の佐藤は通算 13 オーバー、157 の 5 位タイに終わった。

通算 17 オーバー、12 位タイまでの 13 人と、14 位タイの 3 人のうちの 1 人(マッチングスコアカード方式で選抜)の計 14 人が、11 月 7～8 日、南九州 CC で開催される第 18 回日本グランドシニア選手権への出場資格を得た。

今大会は台風 15 号による強い雨、風の影響で大会開催が懸念されたが、結果的には大きなトラブルもなく、無事に大会を終えることができた。しかし、参加した選手には、特に初日の風や、厳しく設定されたラフなどのコンディション。さらには、宮崎CC特有の高麗芝のグリーンが悩ましく、2日間でアンダーパーをマークした選手はいなかった。最終日のコンディションは晴れて気温 24 度、南南東の風 1 m（正午現在）。

「ミッドシニアの新人ですから」中島好巳 謙虚に攻めて獲得した公式競技のビッグタイトル

最後の 18 番グリーンではボギーパット。それを入れ同伴競技者から「おめでとう」の言葉が出て一瞬、げんげんな表情になった中島好巳だったが、アテストが終わって 1 打差での逆転勝利を確認し、笑顔があふれた。「いやあ、どこで勘違いしていたのか、皆吉さんとのプレーオフになったと思ったんです」。

打球の行方を見つめる中島好巳



それだけ必死で戦っていたということもできる。実は、前半に皆吉をとらえると、後半は皆吉の不調にも支えられて一時は 3 打リード。終盤に中島もボギーを重ね、結局は 1 打リードしての 18 番だったが、お互いにボギー。それを中島は「追いつかれた」と勘違いしていたのだ。

初日は、「ボギーを打たないゴルフ」に徹して 2 位発進。最終日は、「私はミッドシニアの新人。欲を出さずに」と話していたが、勝負である以上そうも言っておれないだろう。「ここは冒険するとリスクもあるコース。（勝つためには）初日同様、ボギーを打たないゴルフを心がけた」という。

終わってみれば、1 バーディー、4 ボギー。2 バーディー、7 ボギーと乱れた皆吉をその少ないボギーで逆転した格好だ。

初めて獲得した九州タイトル。そして、「初めて出場するジャパン（日本選手権）」（中島）。「自分のゴルフが日本でどの位置にいるのか試すいい機会。精一杯戦います」と力強く答えてくれた。（Kiku）



リードを守れなかった皆吉寿紀

ティショットを放つ鍋井健三



「九州チャンプの責任」鍋井健三 日本選手権はリベンジの場

トップとは 6 打差。それを見事にひっくり返しての連覇達成だった。最終組の結果を待たずにロッカールームに引き揚げた鍋井に、「逆転」を告げると、目を真ん丸にして、「ほんと？」。そして、相好を崩した。

インスタートの 10 番で幸先よくバーディー。が、すぐに 11 番パー 5 でボギー。「これで自分の気持ちを引き締めた。それがよかったのかな」という。16 番（パー 3）でも 2 打を沈めてバーディーを奪い、前半を 1 アンダーで折り返した。

後半は結果を見ると、4 ボギーの 40 をたたいた。しかし、鍋井は、「我慢しきった」という。ドライバーは相変わらず不安で握らなかったが、初日の 32 パットも最終日は 27 パットと 5 打も縮めた。「崩れそうなところをパターでしのぎきった」と鍋井だ。

鍋井には、九州のディフェンディング・チャンピオンとして出場した試合で無様な試合をしたくないという思いがあった。それだけに、2 連覇達成で、「責任を果たせたことが何よりもうれしい」と言う。

この後は、九州（鹿児島・南九州 CC）で開かれる日本選手権。今年は加えて、リベンジもかかる。というのも昨年、九州で優勝して出場した日本グランドシニア選手権で、九州で下した山本政実（ミッションバレー、今回欠場）に敗れ 2 位。本人は「リベンジ」の言葉は口にはしなかったが、その勝負服のように赤く燃える闘志を見せてほしいものだ。（Kiku）

80 歳以上のスーパーシニアは 武原勲(チサン御船)に栄冠

スーパージョーランドを制した武原勲



最終日はまた、18 ホールで行われた年齢別 80 歳以上のスーパーシニア競技に 21 選手が出場したが、81 歳の武原勲（チサン御船）が 83 のスコアで回り、初優勝した。2位は 1 打差で 80 歳の古城朗（嘉穂）。以下 3 位に 81 歳の佐藤徳郎（熊本空港）＝スコア 88、4 位 80 歳の林田次男（同）＝スコア 88、同数は年長順、5 位 81 歳の荒牧光（阿蘇やまなみ）＝スコア 89 だった。

例年、エージシュートにわくスーパーシニアだが、今大会は 6115 ヤードと距離が長い上に、芽がきつい高麗グリーンに手こずる選手が多く、エージシューターは出なかった。

我慢のゴルフで初優勝 武原勲

〇… 2 バーディー、5 ボギー、4 ダブルボギーの 83。「ここは距離が長く、アプローチの距離勘が合わなかった」。出入りの激しいゴルフになったが、結局は我慢のゴルフで乗り切り、優勝を手繰り寄せた。

しかし、本人は、「エージシュートを狙っていたんですけどね…」と言い、あと 2 打かなわず、「悔しい」と正直に口に出した。

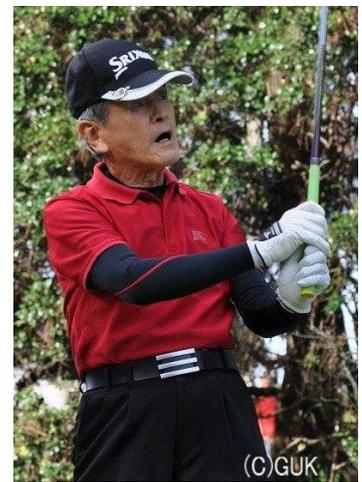
建設業を営んでいたが、現在は一線から身を引いている。ゴルフは必要に迫られ、50 代で始めた。現在は月に 6～7 回のラウンドで、これまでに 116 回のエージシュートも達成。「ゴルフが健康法」といい、「体が続く限り楽しみたい」と笑った。

809 回目のエージシュートならず 植杉乾蔵（球磨）

〇…熊本のエージシューター、植杉乾蔵（球磨）の 809 回目のエージシュートはならなかった。「ラフがきついし、（高麗芝の）グリーンで打ちきれなかった」。87 歳で 91 のスコアで 9 位。立派なものだが、この人にとっては「悔いが残る」試合となったようだ。

それにしても、この試合前までにプライベートを含め 808 回のエージシュートを記録してきた。ゴルフの技術もさることながら、「月に 14～15 回のラウンドをこなす」ほどの健康。どこにその秘訣があるのかと聞くと、「女房の食事、健康管理」と。

その女房、千枝子さん（70）は元看護師。現在は調理師資格を持ち、「約 30 種類の食材を使って料理するように心がけている。塩分控えめの薄味。それに蜂蜜と牛乳効果」という。健康法はゴルフと食事。「目標は 1000 回達成といい、それを夫婦で実践する植杉さんだった。



エージシュートに燃える植杉乾蔵



平成 23 年度第 18 回九州ミッドシニア選手権競技
第 33 回九州グランドシニア選手権競技

競技報告・第 1 R (2011/09/21)

写真と記事：GUK

グランドは佐藤守男(南九州)がベストスコアの 72 で単独首位 ミッドは皆吉寿紀(阿蘇東急)が 74 で首位発進



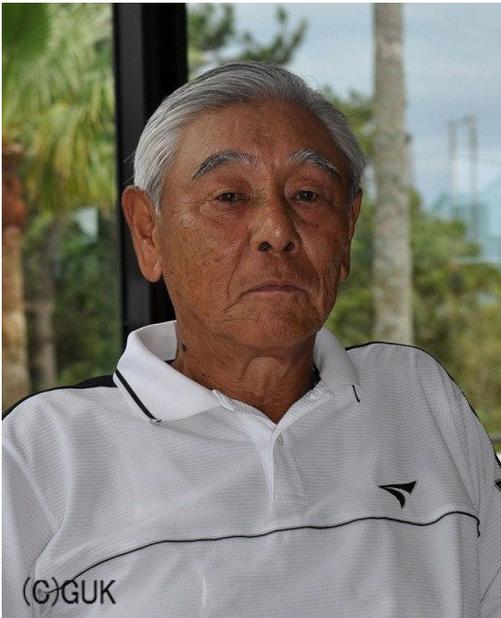
ミッドで首位発進の皆吉寿紀

第 1 ラウンドは 21 日、宮崎市の宮崎カントリークラブで行われた。心配された台風 15 号の影響は、やや風が強かったものの午後から晴れ間ものぞき、競技は予定通り消化された。正午現在のコンディションは曇り、気温 27.5 度、西南西の風 7 m。

ミッドシニア (65 歳以上) では 71 歳の皆吉寿紀 (阿蘇東急) が 2 バーディー、4 ボギーの 74 で初日単独首位に立った。1 打差の 2 位は中島好巳 (鹿児島シーサイド、65 歳)、さらに 2 打差、75 の 3 位タイに中島文章 (大分中央、65 歳)、池田稔臣 (若松、65 歳)、後藤克義 (宮崎国際、66 歳) の 3 人がつけた。前回優勝の大川重信 (太宰府、66 歳) は 80 をたたいて 14 位タイとやや出遅れた。

グランドシニア (70 歳以上) はイーブンパー、72 で回った 71 歳の佐藤守男 (南九州) が 2 位の若松寛英 (かごしま空港 36、70 歳) に 3 打差をつけて単独首位。佐藤のスコアの 72 はミッドを含めた全参加選手のベストスコアだった。

76 の 3 位は池辺輝夫 (大分中央、70 歳) で、さらに 1 打差の 4 位タイに鈴木勝元 (麻生飯塚、74 歳) と松下廣海 (大隅、70 歳) の 2 人がつけた。鍋井健三 (小郡) は梶原鶴雄 (佐賀クラシック、71 歳) とともに 6 位タイ。



グランドで
首位に立った佐藤守男

台風一過 難コンディションにスコアは伸びず

シーサイドを吹きつける台風の名残りの強い風。これに連盟主催競技特有のラフの深さや、同 CC の高麗グリーン。各選手ともスコアメイクに苦しんだ。

そんな中で、ミッドの皆吉はインスタートで前半 3 ボギーの 39 と苦戦したが、後半は 11、15 番でバーディー。最終 9 番で 3 パットのボギーとしたが、他も伸びず単独首位に立った。

グランドの佐藤は、今年の日本グランド選手権がホームコースの南九州 CC で開かれるだけに、その出場権を目指して気合十分のラウンド。しかも、ホームコース同様の高麗グリーン。インスタートで 1 バーディー、2 ボギーの 37 だったが、後半は 2 バーディー、1 ボギーでスコアを戻した。

この試合の結果、ミッドの部で 12 オーバー、84、38 位タイまでの 42 人と、グランドシニアの 15 オーバー、87、53 位タイまでの 60 人が最終日の決勝ラウンドへ進出した。

主な選手の話

【ミッドシニアの部】

首位発進の皆吉寿紀 今日ショットがピンに絡んでくれたけど、(慣れない)高麗グリーンで苦労した。風もあって最後は足、腰に来た。明日はまあ、ぼちぼちとやります。



2位と好位置に付けた
中島好巳

2位の中島好巳 知らないコースでもあり、キャディーさんを頼って曲げないよう、曲げないように慎重に攻めた。ボギーを打たないパーゴルフに徹したのが良かった。高麗芝のグリーンも違和感はなかった。ミッドシニアの新人らしく、最終日は欲を出さずに攻めたい。

地元宮崎の後藤克義 高麗グリーンはそう早くなかったし、風も強くは感じなかった。ドライバーの調子が今イチだから、トップ10に入れれば…。

前回覇者の大川重信 調子は悪くなかったんだけど、後半リズムを崩してしまった。高麗グリーンが重くて打てず、フラストレーションが高まり悪いリズムになった。このままでは終われない。頑張ります。



巻き返しを図る
大川重信

05年九州シニア優勝の清水義明

(83で予選通過)風は強くは感じなかったが、いつもと逆で浜風。芝の芽がきついこともわかっていながら、打てなかった。

【グランドシニアの部】



連覇を目指す鍋井健三

初日トップの佐藤守男 普段から高麗芝に慣れていて。練習ラウンドは雨の中だったけど78、83も叩いた。上出来です。ここは易しくはないけど、相性のいいコース。今年の日本選手権がホームコースだけに、みんなから「必ず出場権を確保して」と言われてきた。最終日は楽に、マイペースで回りたい。(1996年九州シニアのチャンピオン)

前年覇者の鍋井健三 ラフがきつく、アプローチが寄らず、パターも入らずだった。バーディーなしの32パットは自滅した感じ。最終日は、このミスがなくして、希望を持ってラウンドしたい。



平成 23 年度第 18 回九州ミッドシニア選手権競技
第 33 回九州グランドシニア選手権競技

競技報告・大会前日 (2011/09/20)

写真と記事：GUK

M・Gシニアの熱い戦い シーサイド（宮崎 CC）を舞台に展開

ミッドシニア優勝カップ



グランドシニア優勝カップ



シニアのミッド、グランド両選手権競技が 21 日から 2 日間、宮崎市の宮崎カントリークラブ（ミッド 6426 ㌦、グランド 6228 ㌦＝パー72）で行われる。

ミッドシニアは 65 歳以上で J G A ハンディキャップ 18.4 まで、グランドシニアは 70 歳以上で同 24.4 までが参加資格。九州各県地区予選の通過者のほか、前年度の九州、日本選手権 5 位までの選手らがシードされ、計約 140 人が出場する。

このほか、九州グランドシニア選手権には、選手権競技のほか、年齢別に A 80 歳以上、B 75 歳以上、C 70 歳以上の部で表彰する制度もある。A の 80 歳以上（ハンディキャップ 27.4 まで）は自由参加で、今年は 24 人がエントリー、最終日に 18 ホール（6115 ㌦、パー72）の競技を実施する。

各県地区でのシニア競技の参加者は増加傾向にあり、グランドシニアは今年の予選に過去最多の 352 人が参加、九州大会への出場権を争った。

特に、80 歳以上の部では、ここ何年かはエージシュートラッシュがみられている。昨年大会では 6 人が記録して話題になったが、今年は何人が達成するかも注目だ。

会場の宮崎 CC は宮崎空港の南に隣接し、日向灘に面したシーサイドコース。1960 年（昭和 35 年）、宮崎で最初に開場したゴルフ場で、コース設計は日本アマ 3 勝の実績がある三好徳行氏の手になる。グリーンは高麗芝のワングリーン。コースはフラットで、各ホールは豊かな松林でセパレートされており、この松林と、海岸

特有のバンカー、日向灘を吹き抜ける風がハザードになる。2003 年からは女子プロツアーチャンピオンシップリコーカップの会場になっている。

台風 15 号の影響は？

明日 (21 日) からの競技は実施予定

台風 15 号の接近で競技への影響が心配されたが、前日の 20 日午後 3 時現在で宮崎地方は東の風 7 m。気象庁によると台風は今後は九州から遠ざかり、天候も回復する見込み、となっている。



(C)GUK